

医療薬学研究に関する情報公開

【研究名】

口唇の乾燥予防に最適な保護剤の検討

【目的】

がん化学療法や放射線療法時にはしばしば重篤な口腔粘膜炎が生じるため、口腔粘膜炎対策として口腔ケアが実施され、その有用性が数多く報告されている。口腔粘膜炎発症時には唾液分泌量の低下や口腔の運動機能低下を伴うことがあり、口唇の乾燥を併発することが少なくない。現在、口唇の乾燥予防にはワセリンが汎用されているがワセリン基剤自体に保湿能力はなく、根本的な乾燥予防には適さない可能性が示唆される。そこで、本研究では口唇の乾燥予防に適した基剤を探索するための基礎的検討として、健常人を対象としてワセリンを塗布した際の口唇の水分量および他の保護剤を使用した際の口唇の水分量について検討する。

【研究内容】

- 1.対象者：薬学部学生および教職員（40名程度を予定）
- 2.方法：まず、被検者に対してワセリン塗布前の口唇の水分量を測定する。ワセリンを1日3回口唇に薄く塗布し、塗布後1日目、3日目、7日目の口唇の水分量をモイスチャーチェッカーにて測定する。対照薬剤として、グリセリン、オリーブ油および市販のリップクリームを用いて検討する。
- 3.調査項目：経時的な口唇の水分量を調査項目とする。

【研究期間】

2019年1月7日～2019年12月31日を予定

【個人情報の管理】

エクセルにて個人に番号を割り振り、調査結果を入力する。学籍番号や氏名を記載しないため個人情報は守られる。ファイルはパスワードを付与して登録し、共同研究者のみ閲覧できるようにして管理する。

【研究実施体制】

山口巧（医療薬学研究室教授）
井上沙希（医療薬学研究室学生）
福井佑里子（医療薬学研究室学生）

【研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する問い合わせを希望される方は、研究責任者に御連絡ください。

研究責任者

松山大学薬学部医療薬学研究室准教授 渡邊真一

790-8578 松山市文京町 4 番地 2

電話番号 : 089-926-7113

E-mail : swatanab@g.matsuyama-u.ac.jp